

かやまっ子ゆうゆうプラザ

会場	開設	令和4年度の活動状況				
		参加数(人)			曜日・数 開設期間	講座数
栢間小	平成23年10月 (2011年)	子ども (参加率)	実施 委員	サポーター	月:7日、 土日:3日、 (計)10日 (6/13 - 2/13)	6
		38 (52%)	18	49		

1 実施委員長・校長先生からのあいさつ

実施委員長 塚本 烈史

開設当初から委員長としてご活躍いただきました永松様からバトンタッチされ、本年度から委員長を務めることとなりました。

本年度も、「かやまっ子ゆうゆうプラザ」は年間計画にそって6月からスタートしましたが、12月に2日間の中止があり、(計)10日間にわたり子ども達と楽しくすごすことができました。

なかでも当地域の地域性を活かした農園体験については、当初予定した4日間いずれも天候にめぐまれ計画どおり実施できました。これも永松様はじめ担当の実施委員、地域サポーター、栢間小の先生、JA南彩の皆さんの努力で収穫祭ができ感謝しております。大変ありがとうございました。

今後とも皆さまのご協力をお願いいたします。

栢間小学校長 松村 薫

「かやまっ子ゆうゆうプラザ」も12年目となりました。

令和4年度は、まだまだコロナ禍ではありましたが、子ども達に学校の授業では学ぶことができない沢山の経験をさせてあげたいという実施委員の皆様、温かな想いのもと、沢山の講座を実施することができました。これもひとえに、実施委員長の塚本様をはじめとする実施委員の皆様、指導者・講師の皆様、保護者・地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。本当に大変お世話になりました。ありがとうございました。

各講座で活動する子供たちは、実施委員や指導者・地域の皆様との触れ合いの中で、温かさや優しさを学び、授業とは違う充実感や満足感・達成感を大いに味わっていたと思います。

本校の学校教育目標の一つに「ゆたかな心をもつ子」がありますが、かやまっ子ゆうゆうプラザで地域の皆様と共に様々な取組や体験をすることで、豊かな優しい気持ちと育っていると感じています。これからも、地域を愛し、地域から愛されるかやまっ子、栢間小でありたいと思っております。今後とも関係者の皆様には、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2 取り組み・活動の紹介

本年度、かやまっ子ゆうゆうプラザは（計）10日間で下記6講座の活動を行なった。

<講座の一覧>

	講座名	参加 児童数 (名)	回数	指導者	内容
1	生け花	3	5	萩原喜美江	すすきで秋をいける、ヒマワリをいける、
2	スポーツ	16	7	鈴木晴美 岩谷 靖 渡邊陽二郎	ドッジボール、バスケットボール、 ドッジビー、サッカー、
3	将棋	1	7	関根孝三 尾股良章	ルール説明と実戦対局
4	キューブ	13	7	福田克己	紐抜きゲーム、 キューブパズルで遊ぶ、
5	農園体験	8	4	永松勝治 渡邊陽二郎 田口 勉	①「じゃが芋」掘り、 ②「大根」の播種と収穫、 ③「さつま芋」の苗植え、つる返し・除草、 および収穫、
6	絵手紙	4	1	小野悦子	花、葉、昆虫、果物などの絵を葉書に描く。

<活動の様子>



<開校式>



<生け花>



<スポーツ>



<パズル>



<将棋>



<絵手紙>



<つる返し・除草>



<農園体験>



<実施委員会>

<活動の記録> (2022年度)

5月16日	実施委員会 (今年度開校準備)	7/4~2/16	実施委員会 (4回) & 月曜講座 (6回)
5/18	令和4年度講座のプレゼンテーション	8/20	農園 (第3回) : さつま芋畑の除草、つる返し
5/19-25	申し込み受付・集計 (5/25)	11/6	農園 (第4回) : 大根、さつま芋の収穫
5/31	サポーター会議	9/12~10/31	情報交換会 : <訪問先> 小林小、江面小、 青葉小、桜田小、栗橋小、青葉小、三箇小、 菖蒲東小、(計)8校、(計)4名参加、
6/10	実施委員会、	11/7	情報交換会 : <栢間小への来訪> 菖蒲小、 小林小、栗橋小、(計)3校、(計)3名来校、
6/13	令和4年度開校式、第1回月曜講座	2023年2/13	第7回月曜講座、令和4年度閉校式
6/13	農園体験 (第1回) : さつま芋苗植え	3/13	実施委員会 (年間の反省、次年度計画)
7/2	土曜講座 : 農園 (第2回)、絵手紙		

<ゆうゆう日記から> 一部抜粋

<生け花> 今日ひまわりをつかいました。つかいかたがむずかしかったけどたのしかったです。

<スポーツ> ぼくは、今日バスケをしました。たくさんはずしてしまっただけで4点入れることができました。次ははずさないようがんばりたいです。

<将棋> ぼくはしょうぎでひとりでやることになりました。でも先生といっしょにやったらつよくなれると思ったのでうれしいところもあります。一年間がんばりたいです。

<パズル> 6年生みんなでもミノを作りました。「M」という形を作りました。難しかったです。並べるとたおれたりしてみんなでワイワイしながらやりました。時間までに作れました。

<農園体験> 私は今日、つるがえしと大根のたねまきをやりました。つるがえしは、どのつるがどのなえから出ているのかが、分からなくて、苦戦しました。秋になったら大根が収穫できるのでたのしみにしています。

<絵手紙> 絵手紙を今日は、はじめてやりました。風りんをモチーフに書きました。初めてだったけれど上手にかけました。これをだれにおくろうか、まよってます。

◎「12年間の推移」 (2011-2022年度、かやまっ子ゆうゆうプラザ)

年度	講座名	参加子ども数 (計)
2011	おやつ(A)、生け花(B)、スポーツ(C)、編み物(D)、昔の遊び、	114
2012	(A)、(B)、(C)、(D)、昔の遊び、小塚ばやし(E)、日本発見、	104
2013	(A)、(B)、(C)、(D)、(E)、三味線(F)、本のひろば(G)、折り紙(M)、	84
2014	(A)、(B)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(M)、健康吹き矢(H)、お茶、	73
2015	(A)、(B)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(M)、	74
2016	(A)、(B)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、将棋(I)、	73
2017	(A)、(B)、(C)、(F)、(H)、(I)、農園体験(J)、	68
2018	(A)、(B)、(C)、(F)、(H)、(I)、(J)、竹トンボ&キューブ(K)、絵手紙(L)、楽しい遊び、	70
2019	(A)、(B)、(C)、(F)、(I)、(J)、(K)、(L)、楽しい遊び、	63
2020	(A)、(B)、(C)、(I)、(J)、(K)、	39
2021	(A)、(B)、(C)、(I)、(J)、(K)、(L)、	49
2022	(B)、(C)、(I)、(J)、(L)、パズル、	38

(注) おやつ(A)、生け花(B)、スポーツ(C)、編み物(D)、小塚ばやし(E)、三味線(F)、本の広場(G)、健康吹き矢(H)、将棋(I)、農園体験(J)、竹トンボ&キューブ(K)、絵手紙(L)、昔の遊び、日本発見、折り紙(M)、お茶、楽しい遊び、パズル、(計)18講座

3 本年度の成果

(1) 安全衛生の確保：

実施委員と保護者サポーターには、以下の安全衛生の対策徹底をはかった。

A. 講座当日

出席者名簿チェック時に、各自の体温測定、手指の消毒、マスク着用を確認し、3密を避け、室内換気をおこなった。

B. サポーター会議（2022年5月31日）、

①久喜市内全小学校（21校）における「傷害事例」紹介

過去7年間（2015-2021）：計65件（内訳：児童58件、実施委員・サポーター：7件）

②石山久美子先生（栢間小養護教諭）による指導

「活動中のケガ、熱中症および感染症対策について」

③「緊急時対応マニュアル」配布（新型コロナなど感染防止、等）

C. 12月における講座中止

12月3日（土）と5日（月）の2日間は当初計画の講座を中止した。発熱、体調不良で休む児童が複数おられ、参加児童およびサポーターの健康第一のもと、校長先生ともご相談のうえ中止とし、関係者に理解いただいた。

(2) 農園体験の実施

本年度は天気めぐまれ、当初計画の①「さつま芋苗の植え付け」②「じゃが芋の収穫」③さつま芋畑の「つる返し・除草体験」④「さつま芋と大根の収穫」の（計）4回とも変更なく実施できた。なお新学期開始前の2月からは、役員で畑の耕耘、施肥等の準備をすすめ、ゆうゆう開校後には参加児童に予定通り体験活動ができた。

(3) 「ゆうゆうノート」の活用

今年度も「ゆうゆうノート」は、①活動後1週間以内に提出とし、②指導者は次回活動までに目を通し、全員にコメント記載を依頼した。

4 今後の課題

(1) 安全衛生の確保

「サポーター会議」では、サポーターの皆さんに安全衛生確保の協力をいただき、事故防止につとめる。また、養護教諭に協力をお願いし、「応急手当研修」も検討したい。また、月曜講座終了後は、従来通り方面別のグループ下校とする。

(2) 実施委員の確保

実施委員やサポーター確保のため、現行のゆうゆうプラザの「広報活動」と並行して、地域にある既存組織に働きかけてみる。

(3) 農園体験の工夫

次年度も農園体験の野菜種として「さつま芋」、「じゃが芋」と「大根」の3つをとりあげたい。子ども達が畑作業を体験することを大切にしながら、作物栽培の都合とのバランスを考えて、日程や数量を工夫してゆきたい。

(4) 講座種目の選定

「かやまっ子ゆうゆう」の「12年間の推移」から、これまで実施した「18科目」から、再開できるものがないかを調べ、また、他地区のゆうゆうで実施されている講座について新規採用を検討する。